



J・A・C
(第 15 号)

千葉支部だより

発行者 篠崎仁
編集者 結城純一

日本山岳会千葉支部 2011年度通常総会 記念山行



2011年5月22日(日)午後1時半より、京葉銀行文化プラザにおいて2011年度通常総会が開催されました。議案の審議に先立ち篠崎支部長より次のような開会の挨拶がありました。

「昨日は、今日の総会に先立ち記念山行が行われました。コースは笠森グリーンルートで、房総半島分水嶺踏査の一環でもあります。多くの会員参加のもと、好天に恵まれ楽しい一日を過ごすことができました。さて、2007年6月24日に設立総会を開催し、満4年が経過しました。何とか支部の基盤も確立することができたと考えております。これもひとえに今日ご出席の皆さまを初めとして支部会員の方々のご支援のたまものであり、厚く御礼申し上げます。いよいよ5周年目を迎えることとなります。

5周年の記念行事については、これから支部役員会を中心に検討してまいります。ぜひ皆さまのお知恵を拝借したいと思います。山行については、会員のだれもが参加できる海外登山も考えております。初回のイベントとしては、世界自然遺産の指定が予定されている小笠原諸島自然観察会を7月に実施いたします。



支部活動の企画・実施は役員会と支部一般会員という二元的なものでなく会員全員で作らばいい実行していくものです。“より楽しいより豊かなクラブライフ”の充実のためにぜひ皆さまも支部運営にご参加くださることをお願い申し上げます。毎月の定例役員会はオープンにしておりますので気楽に遊びに来てください。」

司会担当の諏訪副支部長より、3 月末日で有権会員数 95 名、うち本総会出席者数は 28 名、委任状による出席 43 名、合計出席人数 71 名であり、規約に定める定足数(会員数の三分の一、32 名)を充たし本総会が有効に成立している事を確認しました。その上で、規約第 8 条に基づき篠崎仁支部長が議長となり、別紙の各議案を逐次検討しましたが、いずれも原案通り満場一致で可決されました。

総会後の定例の記念講演会は、千葉支部顧問の芳賀孝郎氏が演題「アルバータのピッケル」と題して、カナダのアルバータ山の頂上に残された一本のピッケルが辿った実に数奇な運命の物語を興味深く話されました。最初に、数年前にTBSの看板番組「世界ふしぎ発見」でこのピッケルの話題が採り上げられたビデオを放映し、カナダのアルバータの氷雪を被った急峻な鋭峰を見るに、今から 86 年前に当時の粗末な装備でよく、この山を初登頂した偉大なるアルピニスト榎有恒の勇氣ある挑戦に感銘を受けました。この登山で初めて彼は絹によるロープを作り試したことが番組のクイズ問題として出題されておりました。

その後、芳賀氏の説明で、この山の登頂の経緯が語られました。

1924 年(大正 13 年)12 月暮れの或る日、スキーで遊んだ後の帰りの列車の中で細川護立侯爵から一冊のカナディアンロッキー登山案内書を見せられ、同ロッキー山群では高度順位 6 位ながら急峻な頂きを持つ「恐るべき未登のマウンテン・アルバータ」として紹介されており、その怪異な山容を見た彼は大いに挑戦

意欲を掻き立てられ、半年後に遠征隊を細川侯の援助等により結成した。細川侯からは登頂後の暁には侯のイニシャル「M. T. H」を金で象嵌した一本のピッケルを記念に頂上に立てて貰いたいとの依頼を受けた。こうして、日本山岳会初の海外遠征隊が榎隊長以下、慶応 4 名と学習院 2 名の隊員がスイス山岳ガイド 3 名と合流し7日間のキャラバンをしてアルバータ(3,619M)山麓にベースキャンプを設置し、時に 1,925 年 7 月 20 日、2,000M のキャンプから 16 時間の厳しい登攀の末に頂上に到達した。榎隊長一行は山頂では日の丸の旗を振る事も無く万歳を叫ぶこと無く無言のまま握手をしてその喜びを交わしたといわれている。その後、頂上より少し下がった岩の露出した地点にケルンを積み細川侯から託された件のピッケルを立てた。



1,948 年アメリカ隊 2 名(オーバーリンとアイレス両氏)が 23 年振りにアルバータ山の第二登に成功した。彼等は頂上で風雪に耐えて頂上に屹立している件のピッケルを持ち帰る。その M. T. H のピッケルはニューヨークのアメリカ博物館に 1996 年まで保管される。

芳賀氏は 1966 年にニューヨークを訪問し同博物館でそのピッケルに出会い、石突きの部分が折れていることを知る。帰国途中に岳父三田幸夫氏の計らいで登頂者アイレスと会いピッケルを抜く時に石突きの部分が折れたこと、下山時にそのピッケルが役に立った事を知る。この時から、芳賀氏の中に折れて残されたピッケルの石突き部分の行方を是非捜したいと言う強い欲求が芽生えた。また、このピッケルが何時の間にか地元では昭和の裕仁天

皇、すなわち当時の皇太子が登攀隊のリーダーに託された物だと言う噂が広まり、益々、このピッケルの存在が注目されるようになった。その後、三田幸夫氏とアイレス氏との手紙の遣り取りでピッケルの本当の持ち主の存在を知った。

1965年、日本の長野高校山岳部OB隊によりアルバータ峰の第五登が成された。彼等はそのような事情を知らず同峰の頂上から第二登、第三登の遺留品等と思い持ち帰った。1996年8月に芳賀ご夫妻も71年振りに先輩の足跡を訪ねる学習院登山隊に参加し、スコップ持参の登頂した隊員に頂上で折れた石突きの部分を探す依頼も雪深く探す事できなかった。

また、件のピッケルがカナダ側からの要請で、登山発地点のジャスパーイエロー博物館に71年振りに戻ってきた。芳賀氏は1997年3月の日本山岳会の会報「山」622号にアルバータのピッケルの不明となっている石突き部分の経緯を寄稿したところ、これを読んだ長野高校山岳部OB会長の原謙一氏から連絡があり、同山岳部がアメリカ隊の遺留品と思い持ち帰った事を知る。ついに、芳賀氏の念願の執念が実り、同年の日本山岳会年次晩餐会席上でカナダ山岳会会長及び副会長並びにジャスパーイエロー博物館長等を招き当夜の

出席者 756 名に見守る中で、折れたピッケルが 49 年振りに合体したのです。この壮大なピッケルの数奇な物語は芳賀ご夫妻の尽力により日本とカナダの友好の歴史を飾り、この話が“Called by This Mountain”として道徳の教科書にも掲載された。

この美しい話が、これからもレジェンドとして永久に語り継がれていくであろうと思ったのは私だけではなかったようで、会場の皆さんの万雷の拍手がその事を雄弁に物語っていました。

その後、懇親会が隣の会場に移り三木副支部長の司会・乾杯の挨拶で始まりました。

用意された和・洋・中のバイキング料理を肴に皆さん今年登られた山やこれから登る予定の山等の話題で多いに盛り上がりました。新公益法人プロジェクトリーダーの吉永氏からは新公益法人後の日本山岳会の予算等の取扱措置を含めた課題や来月に開催予定の総会での重要事項案件の議決に際する委任状(欠席の場合)の正式な記入と提出期限の厳守をお願いされました。最後に佐藤明夫氏の中締めの挨拶で楽しい宴は終了しました。

(諏訪吉春)

参加者名(敬称略:順不同)

石岡慎介、岩尾富士夫、内田勲、岡野修、小沢けい子、鎌倉淑子、坂上光恵、櫻田直克、佐藤明夫、塩澤厚、篠崎仁、鈴木美代、諏訪吉春、高田春男、高橋正彦、竹島正義、津田麗子、土屋満、豊倉さと子、芳賀孝郎、日色健人、平山善吉、三木雄三、南井英弘、柳下忠義、山口文嗣、結城純一、吉永英明、(以上、会員 28 名)

宇津木仁典、谷内剛、吹野義憲、矢野賢二(以上、会友 4 名)合計 32 名

千葉支部総会記念山行 笠森グリーンルート

期 日 2011年5月21日(土)
参加者 山口文嗣(L)、吉永英明、吹野義憲、高橋正彦、篠崎仁、諏訪吉春、
結城純一、鈴木美代、折田幸一、杉本正夫、岩尾富士男、吉野聰、
渡邊由市、柳下忠義、谷内剛、梶田義弘、梶田天兵、高橋琢子、川嶋弘、
川嶋芙美子、竹島正善 (順不同)

千葉支部総会を翌日に控えた「千葉支部総会記念山行」として笠森グリーンルートを歩いた。コースは笠森寺の観音堂からユートピア笠森へと至る約11Kmで、一部は房総半島の分水嶺にもなっている。9時15分茂原駅集合。南口のバス乗り場より9時30分発牛久駅行小湊バスに乗車。一般乗客2名を除いた座席は我々が占めることとなった。所要時間およそ30分で笠森バス停下車(10:04)。バス停前の駐車場で参加メンバーの簡単な自己紹介を終え出発(10:15)。

駐車場よりおよそ5分で笠森観音へ到着(10:20)。寺伝によれば延暦3年(784年)に最澄(伝教大師)が楠の霊木で十一面観音菩薩を刻み安置し開基されたとされる古刹で、古来より巡礼の霊場として知られており、十一面観音像が本尊であることから「笠森観音」と通称される。大岩の上にそびえる観音堂は、四方懸造り(しほうかけづくり)と呼ばれる構造で、日本で唯一の特異な建築様式であり国の重要文化財に指定されているとのこと。参拝後、観音堂右裏手から登り始める(11:00)。コースは樹林に囲まれた尾根道で丸太の階段等よく整備されており、歩きやすい。しばらく歩くと鋼鉄製の展望台があり、周囲の山々を見渡すことができる。手すり付近に桜の木を見つけ、以前聞いた笠森が桜の名所であることを思い出した。笠森霊園の敷地を左眼下にみるあたり、右手の尾根から分水嶺と合流する。それは説明を受けなければわからない程で、房総丘陵独特の特徴のない尾根であった。裏返せば高

い読図の能力が要求され、房総半島分水嶺踏査に携わる会員の苦労が想像できた。「らくだの背」と呼ばれる地点からは細かなアップダウンが始まる。途中、トレイルランニングの青年や弁当を広げるカップル、何組かのグループとすれ違い、想像していたよりも訪れる人の多いことに驚く。おそらく整備された適度のアップダウンが格好のトレーニングの場であったり、市民の手軽なコースとなっているのかも知れない。展望のない「百山望」を過ぎたあたりからはアップダウンの差は次第に大きくなり、気温の上昇も手伝ってさすがに汗ばむが、久しぶりに歩く緑豊かな木立と柔らかな地面は歩きやすく心地よい。昼食は展望台手前の東屋以降、我々が使用できる適当なスペースがなくコース途上のベンチを見つけそこで摂った(11:50~12:30)。

昼食後、しばらくして一旦車道まで下り、横断したところにあるユートピア笠森に向かうコースを上る。そこから蔵持ダムの右手を回り込み、ユートピア笠森に到着(13:00)。現在は休館し「東日本大震災」の避難所となっていたため、その先の野見金公園で休憩後(13:40)舗装路を歩き平田バス停に到着(14:20)。平田バス停より14時50分発の茂原駅行の小湊バスに乗り、茂原駅に戻った。

茂原駅に到着後、都合のつくメンバーは吉野会員の案内で茂原駅近くの割烹「網元」へ移動。肉質の柔らかな房州ポーク、新鮮な刺身の盛り合わせなどを肴に冷たいビールで喉の乾きを潤した。(谷内 剛)

嵯峨山歩き



期 日 2011年1月22日(日)

参加者 三木雄三、芳賀孝郎、吉永英明、篠崎仁、結城純一、高橋正彦、山口文嗣、石岡慎介、青木一夫(御夫妻)、岩尾富士夫、高橋琢子、湯下正子、杉本正夫、折田孝一、梶田義弘 天兵、山口晶子、村田さん、佐分利さん

ふわふわと漂う水仙の香りと優しい日差しのおかげか、いささか運動不足の足も元気に前進できてしまった。「ハイキングに行きませんか？」と同僚に誘われ、気楽に参加させていただいた嵯峨山歩き。小保田のバス停からしばらくは、のんびりよそ見やお喋りに興じていたものの、次第にいわゆるハイキングから連想するより急な傾斜や細い道に……。なるほど、さすが日本山岳会千葉支部主催」と納得し、予想以上の楽しさと運動量で満喫させていただいた。

道中、植物や地質の実地解説、ギリシャ哲学の講義も(歩くのに必死なため耳だけ傾け)しっかり拝聴。前方を歩く方の背を追えば、長年使われたと思しきザックの具合に「格好いい」と羨望の眼差し。滑り落ちないように見つめる地面も、落ち葉がキレイと感心してみたり。山頂での昼食や記念撮影、ぎゅうぎゅう詰めの乗り合いバス、そして水仙いっぱいのお花畑をしっかりと五感で味わって、楽しい土産とできました。

(山口晶子)

房総第二の高峰は？

日本一高い山は？ と問われれば、子供でも富士山と答えられるだろうが、二番目の山は？ と問われて北岳(3192.4m)と答えられる人は、山を知っている人はいざ知らず、山登りをやらない人では少ないのではないのでしょうか。槍ヶ岳とか穂高などという答えが返ってきそうです。谷川岳なんという答えも出てきそうです。山高さが故に尊からずと言いますが、やはりこれらの山のほうが一般的には有名なのでしょう。

では房総一の高峰は？ と問われても子供はおろか多少山登りをやっている人たちでも正答を答えられる人は少ないでしょう。JAC 千葉支部の会員会友諸兄であれば即座に嶺岡愛宕山(408.2m)と答えられるでしょう。ではつぎに房総で二番目の山は？ と問われたら、皆さんは何と答えますか？ おそらく清澄山とか鹿野山という答えが返ってくると思われます。鋸山とか安房高山の名前が挙がるかもしれません。最近の大多数のガイドブックは清澄山を房総で二番目としています。かつて安房高山を千葉県第2の高峰として紹介しているガイドブックもありました。

そこで房総の標高 350m 以上の山を 2 万 5 千分 1 地形図からピックアップして標高順に並べてみました(別表)。2 鹿野山(白鳥嶽)と 5 鹿野山(熊野峰)、14 鹿野山(春日山)及び 3 妙見山と 8 清澄山、11 富士山はそれぞれ一つの山塊と見なせるので、一番通りのよい名称の鹿野山、清澄山として一山としてカウントしてもいいのかと思います。4 番目の無名峰は麻綿原北西約 650m にある標高点です。数年前中高年のパーティーが道に迷って大騒ぎになった場所です。この 372m 峰に登って麻綿原に下るべき所を、右に入ってしまったのです。5 の高天神を清澄山と一括りにするのは無理がありそうなので、別の山とします。すると 1 番目が嶺岡愛宕山、2 番目が鹿野山(379m)、3 番目が清澄山(377m)、以下 4 番無名峰(372m)、5 番高天神(370.0m)、6 番二ツ山(367m)、7 番安房高(364.9m)、8 番御殿山(363.9m)、9 番初日山(360m)、10 番嶺岡大塚山(360m)という順になります。鹿野山は一等三角点の春日山が 352.4m と低いため損をしている感じがします。等高線からの読み取りの初日山は 360m 以上、370m 未満、標高点のある嶺岡大塚山は 360m 以上、361m 未満ですが実際にどちらが高いかは判断できません。

一番じゃなければ駄目なのですか、という質問がありました。幸か不幸か千葉県の一番目の嶺岡愛宕山は許可制で入山が難かしかったり、二番目の鹿野山も有名観光地の近くで登山の対象としては一般的ではありません。三番目の清澄山もお寺の境内で本堂の裏山なので登山道が整備されている訳ではないので、ピークへ登ったことのある人は少ないのではないのでしょうか。ちなみにマザー牧場のある場所は鹿野山ではなく、鬼泪山なのですが、今やマザー牧場と言えば鹿野山というのが条件反射のように出てきてしまいますね。またこのマザー牧場の中にも点名「マザー牧場」という 319.3m の四等三角点があります。

350m 以下でも、富山(349.5m)、石尊山(347.6m)、元清澄山(344.2m)、三郡山(337m)、伊予ヶ岳(336.6m)、大日山(333.3m)、高宕山(330m)、鋸山(329.5m)、高鶴山(326m)、津森山(320m)、嵯峨山(315.5m)などの 300m 以上でおなじみの山が目白押しです。有名ではなくとも初日山や長野田山、鹿野山(白鳥嶽)の北の 357m 標高点峰、更に北の 325.7m の三角点峰小糸浅間山などがあります。一番、二番ではなくても房総には 300m 以上でこのような魅力的な山がたくさんありますので、今後の山行に計画して行きましょう。

房総の山 標高順

	一般的山名	2万5千図 での表記	別称	標高m	標高の出所	2万5千図名	三角点等級 /点名	位置
1	嶺岡愛宕山	愛宕山		408.2	△	金東	一等/峯岡	
2	鹿野山	ナシ	白鳥嶽	379	●	鹿野山		白鳥神社裏
3	清澄山	妙見山	魔尼山・天富山	377	●	安房小湊		清澄寺本堂裏
4	無名	ナシ		372	●	上総中野		麻綿原北西600m
5	鹿野山	鹿野山	熊野峰他	370	CL	鹿野山		神野寺周辺4ヶ所
6	高天神	ナシ		370.0	△	上総中野	三等/高天神	妙見山北東1250mの分水嶺上
7	二ツ山	二ツ山		367	●	金東		嶺岡愛宕山の西1250m
8	清澄山	清澄山		365	●	安房小湊		妙見山の北東300m・電波塔の山
9	安房高山	ナシ		364.9	△	鴨川	二等/成川	
10	御殿山	御殿山	御殿ヶ嶽・五天山	363.9	△	金東	三等/御殿	
11	富士山	ナシ	浅間山・仙元山	360	CL	安房小湊		妙見山の西500m
12	初日山	ナシ		360	CL	上総中野		麻綿原天拝園の西130m
13	嶺岡大塚山	ナシ		360	●	金東		嶺岡愛宕山の北500m
14	無名	ナシ		357	●	鹿野山		鹿野山(白鳥嶽)北500m
15	無名	ナシ		356	●	上総中野		麻綿原北西1250m
16	鹿野山	ナシ	春日山	352.4	△	鹿野山	一等/鹿野山	鹿野山湖地観測所内
17	無名	ナシ		351	●	坂畑		郷台畑南東1250m東大演習林内
18	長野田山	ナシ		350	CL	鴨川		安房高山の北東1000m
19	鷹取山	ナシ		350	CL	安房古川		御殿山の南西600m

標高の出所 △：2万5千図三角点の標高

●：2万5千図標高点の標高

CL：2万5千図等高線(Contour Line)からの読み取り

(山口 文嗣)

高川山のビッキー



知人から「高川山のビッキー」の死を伝える悲しい知らせがあった。「登ってくる我々を山の上でじっと待っていた。そして、我々の前を歩きながら時々立ち止まって振り向き、尾をくるくるさせながら山頂へ登っていった可愛い姿が忘れられない」と便りにはあった。

地元の新聞によると、老衰らしいという。私が高川山の頂上で犬と出会ったのは10年ほど前のことだった。弁当を広げると1匹の小型のムク犬が近づいてきた。テリア系の雑種らしい。汚れていたが、愛くるしい顔をして、古びた首輪をしていた。「飼われていたが、捨てられたのかな」。悲しくなった。「食べな」。にぎり飯を半分あげると、食べた。その翌年、再び高川山へ行くと、その犬はたくさんの登山者に囲まれ、人気者になっていた。「ビッキー」と呼ばれていることも知った。「ビッキー、おいで。お昼をあげるから」と言うと、顔をちょこんと傾け、ちょこちょことそばにやってきた。カップ麺の空容器に水を入れて、「飲むか……」。たちまち空にした。「どこで寝ているのかな」「きっと夜には里に下りるんだ」。登山者たちが話していた。

高川山は低山だが展望にすぐれ、富士山をはじめとして大菩薩、道志、遠く南アルプスまでが見える。登山者がいないときは、どうして居るのだろうと気になった時もあった。岩の上で山を見ているビッキー。自分を捨てた飼い主を恨んだこともあっただろう。あたたかい寝床を思いだし、クーン、クーンとさみしく鳴いた時もあっただろう。もし、ビッキーが、言葉を話すことができたなら、きっとたくさんの思い出話をしてくれたに違いない。

ある日、振り返ると、西日の中にビッキーがいた。「また来て」と言いたいような顔をして、見送ってくれた。すこし歩いて振り返ると、もうビッキーはいなかった。ほんとうにいなくなってしまった。今、ビッキーは高川山のふもとの寺の墓地に眠っていると知った。そろそろ墓地の片隅に真っ白い十字のドクダミの花が咲くころだ。

(三木 雄三)

夏のビールパーティー



今年も毎年恒例のビールパーティーを開催します。東関東大震災後の電力消費の節電対策への取組に協力したく、今年は開催時間を早めての実施と致します。今年が支部設立 5 周年目を迎える節目の時期でもあり、“初心に戻り” 開催場所は支部設立後の第 1 回目の行事として開催したサッポロビール千葉ビール園での懇親会を企画しました。多数の皆様の参加を心よりお待ちしております。

日時 2011年8月20日(土) 午後5時～7時

場所 サッポロビール千葉ビール園(船橋市高瀬町2番:サッポロビール千葉工場内)

TEL 047-436-4388 送迎バスを利用します。

※集合場所と時間 JR 津田沼駅(駅の南口バスレーンの一番奥側:モリシアが一番近いバスレーン)前に午後4時集合(厳守)

募集人数 先着30名

会費と料理 4,000円(ジンギスカン料理及びビール等飲み・食べ放題)

申込先 豊倉さと子

申込締切日 2011年8月7日(日)

戦場ヶ原と「高山」



笠昨年引き続き、1泊の山行を計画しました。戦場ヶ原は奥日光を代表するハイキングコースですが、竜頭ノ滝から登る「高山」(1668m)は意外と知られていない山です。男体山はもとより女峰、太郎、大真名子といった「男体山ファミリー」をはじめ、天気に恵まれば奥白根山や足尾の皇海山、中禅寺湖対岸の社山、半月山などが眺望できる展望の山です。中禅寺湖畔の民宿「みはらし」を予約しますので、お早めの申し込みをお願いいたします。

17日は午後3時に中禅寺湖湖畔の「立木観音」バス停集合。歩いて宿に。近くには天然温泉もあります。初日の午前中には「明智平」や戦場ヶ原散策を計画。高山登山は翌日です。詳細は参加者にご連絡いたします。東武浅草駅にはバス代を含んだ格安の「往復切符セット」(約4千円)も発売されています。

日 時 9月17日(土曜)～18日(日曜) 1泊2日
宿 泊 中禅寺湖の民宿「みはらし」 日光市中禅寺湖2482
電 話 0288-55-0103
募集人数 先着20人
締め切り 6月30日
申込先 三木 雄三
山口 文嗣
岩尾 富士夫

●お知らせ

内房外房地域在住者で「四水会」を立ち上げ 毎月第四水曜日に「美弥和」で飲みながらの山談義をしています。内房外房とは限定しませんので参加したい人は気軽な気持ちで遊びに来て下さい

● 編集後記

今回の会報「嵯峨山歩き」ですが、本来なら前号に掲載しないといけない所 私のミスで落としてしまいました。せっかく書いて頂いた山口さん、参加した会員、会友の皆さんにご迷惑をかけてすみませんでした。今後このような事がないよう気をつけます
(結城純一)